

※軽微な文言修正は一覧に掲載していません。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方や修正内容
		ページ	区分		
1	調査特別委員会(議会)	1	序論	市民と総合計画の方向性や内容を共有していくために、「個人としての市民」のみならず広い意味で用いている「市民」という表現は注釈等で定義すること。	ご意見を踏まえ、P1の「1総合計画とは」の最後に以下の文言を追記します。 「※本計画では、市民を「個人としての市民、自治会、まちづくり協議会、地域団体、市民活動団体、中間支援団体、事業者」とします。(ただし、個人としての市民などに限定して使用している場合があります。)」
2	調査特別委員会(議会)	2	序論 総論 各論	【まちづくり基本条例(抜粋)】 「子ども達」となっているが、それ以降は「子どもたち」となっている。整理が必要では。	「子どもたち」については、「子ども」に統一します。
3	調査特別委員会(議会)	3 ほか	序論 総論 各論	行政サービス、市民サービスと表現が微妙に違うのはなぜか。市民が読んだ時に使い分けが分からないので、説明が必要である。	ご意見を踏まえ、「市民サービス」に統一します。
4	調査特別委員会(議会)	3 ほか	序論 基本構想 総論 各論	少子高齢化という言葉がよく出てくるが、少子高齢化で括るのか、少子化、高齢化で分けて考えるべきなのか。その観点で全体チェックしてもらいたい。	以下の3か所について、「少子高齢化」を「高齢化」に修正します。 ・P14 現状認識① 4行目 ・P37 1[1]市民自治・協働 現状と課題(3) 5行目 ・P86 5[4]循環型社会 施策(2) 3つ目の○ 以下について、「高齢化」を「少子高齢化」に修正します。 ・P53 2[4]土地利用 現状と課題(1)1行目、(2)1行目
5	調査特別委員会(議会)	3・23	序論 総論	【P3 5 計画策定の背景と目的】【P23 2 10年後、20年後の本市が抱える問題】 高齢者人口のピークについて、全国と市で違うが、表現が同じであるため違和感がある。	ご意見を踏まえ、総論の「2 10年後、20年後の本市が抱える問題」文中を以下のとおり修正します。 【修正前】 「団塊の世代が75歳以上となり、社会保障費の増大が見込まれる「2025年問題」や高齢者人口がピークになる「2040年問題」などは、避けて通れない問題です。…」 ↓ 【修正後】 「団塊の世代が75歳を迎える令和7年(2025年)頃から、社会保障費は大きく増大し、その後も、本市の高齢者人口は令和27年(2045年)頃にかけて年々増加し、一方で、生産年齢人口は急減していく見込みであり、大きな問題を抱えることとなります。…」
6	調査特別委員会(議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題】 「2025年問題」と「2040年問題」とあるが、「」で同じ何年問題という使い方がよいのか、整理が必要である。	↓ 【修正後】 「団塊の世代が75歳を迎える令和7年(2025年)頃から、社会保障費は大きく増大し、その後も、本市の高齢者人口は令和27年(2045年)頃にかけて年々増加し、一方で、生産年齢人口は急減していく見込みであり、大きな問題を抱えることとなります。…」
7	市	10	基本構想	—	【2 まちづくりの視点 ③活力を創出し、将来を見据えた持続可能なまちづくり】 2つ目の○ 【修正前】 ○本格的な人口減少・少子高齢社会の進行を見据え、特に子育て世代が住んでみたいと思えるまちづくりに取り組みます。 ↓ 【修正後】 ○本格的な人口減少・少子高齢社会の進行を見据え、特に子育て世代が住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組みます。 (修正理由) 「住んでみたい」という表現は、市内に居住していない人の意思を連想させるが、視点としては、市内に居住している人も含めて考えるべきであるため。
8	市	11	基本構想	—	【3 都市づくりの基本的な考え方 地図】 地図を更新するとともに、見やすくするため拡大します。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
9	市	13	基本構想	—	<p>【4 めざすまちの姿】</p> <p>【修正前】 (1)は5つの分野に共通する…「タカラ ミライ ラボ」提言書をもとに、… ↓</p> <p>【修正後】 (1)は5つの分野に共通する…「タカラ ミライ ラボ」提言書及び…</p> <p>【修正理由】 より正確な表現とするため。</p>
10	調査特別委員会(議会)	14	基本構想	【めざすまちの姿】 めざすまちの姿について、例えば「平和のもとで」とか、「平和を享受し」とか、唐突感を埋める工夫を考えられてはどうか。	<p>ご意見を踏まえて、めざすまちの姿を下記のとおり修正します。</p> <p>【修正前】…平和で誰もがありのままに… ↓</p> <p>【修正後】…平和のもとで、誰もがありのままに…</p>
11	市	15	基本構想	—	<p>【4 めざすまちの姿 (2)①危機管理・防災・消防】</p> <p>(めざすまちの姿) 【修正前】 地震や風水害に市民と行政がとにも備え、地域で助け合う意識が高まることにより防災力が強化されている。 ↓</p> <p>【修正後】 地震や風水害、感染症に市民と行政が共に備え、地域で助け合う意識が高まることにより危機対応力が強化されている。</p> <p>(修正理由) 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮するため。</p>
12	市	15	基本構想	—	<p>【現状認識①】</p> <p>【修正前】 南海トラフ地震等の地震や風水害に備えるため、自助、共助の取組を引き続き充実させ、いざという時でも安心できる体制づくりに取り組むことが求められている。 ↓</p> <p>【修正後】 地震や風水害、感染症に備えるため、自助、共助の取組を引き続き充実させ、いざという時でも安心できる体制づくりに取り組むことが求められている。</p> <p>(修正理由) 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮するため。</p>
13	市	19	基本構想	—	<p>分野別計画の基本理念を踏まえた表現に修正することについて、審議会のご意見をいただきたいと思います。</p> <p>【修正前】 「多様な働き方が広がり、働く意欲を持つすべての人が安心していきいきと働いている。」 ↓</p> <p>【修正後】 「誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境が実現されている。」</p> <p>(修正理由) 「雇用・労働環境」分野の分野別計画である労働施策推進計画(策定中)において、「誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境の実現」を基本理念に掲げることを検討しています。同理念に基づき、今後も国・県をはじめ、市や関係機関が連携して、若者、高齢者、障害者、女性など誰もが今よりも一層活躍し、いきいきと働くことができる環境の実現を目指していきたいと考えており、そうした理念を踏まえたより分かりやすい表現とするため。</p>

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方は修正内容
		ページ	区分		
14	調査特別委員会 (議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題】 2040年問題は生産年齢人口の減少の問題も含む。生産年齢人口の減少は社会全体に大きなインパクトを与える。その問題について、総合計画にはどのように盛り込まれているのか。地域活動の担い手や労働者も少なくなる。そうした点を盛り込むことについて検討してもらいたい。	原案のとおりとします。 【理由】 生産年齢人口の減少がもたらす問題については、様々な分野に影響を及ぼすと考えており、「2 10年後、20年後の本市が抱える問題」の①市民自治・協働で地域活動の担い手不足の問題を、②行財政経営で、財政問題を、③福祉、安全・都市基盤で、介護の人材不足の問題を、⑤観光・産業で、社会経済を支える担い手不足の問題について記載しています。 こうした問題を受け、重点方針では、まちづくりの担い手の育成や子どもを産み育てやすい環境づくり、高齢者や女性の就労促進など様々な取組の方向性を示しています。
15	調査特別委員会 (議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ②行財政経営】 本市独自の財政の厳しさについて書くべき。	ご意見を踏まえ、総論の「2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ②行財政経営」文中を以下のとおり修正します。 【修正前】 「人口減少、少子高齢化や社会構造の急激な変化は需要と供給の不均衡をもたらす、市の財政へ大きな影響を及ぼすだけではなく、これまでの制度や運用では社会の変化に対応した市民サービスの提供が困難となることが予想されます。また、目まぐるしく変化し、多様化する市民ニーズを単独自治体ですべて対応していくことは難しくなります。」 ↓ 【修正後】 「本市の高齢化率は国や県平均より高い水準で上昇する見込みであり、年少人口や生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加という人口構成の変化による社会構造の急激な変化は、需要と供給の不均衡をもたらす、市の財政は、 <u>税収の減少や社会保障費の増加等により大きな影響を受けることが予想されます。また、これまでの制度や運用では社会の変化に対応した市民サービスの提供が困難となるほか、多様化する市民ニーズに単独自治体ですべて対応していくことは難しくなります。」</u>
16	調査特別委員会 (議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ②行財政経営】 財政が厳しいのなら問題に書くべき、将来の人口構成とセットで説明し、明確にしないと選択と集中につながらない。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 「市財政の健全性を損なわない整備や維持管理のあり方」など、正確な意図が伝わりにくい表現は改めること。 ↓ 【修正後】 「 <u>長寿命化や施設保有量の最適化など、資産として最適に維持管理し、有効活用を図っていかねば、</u> 」
17	調査特別委員会 (議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ②行財政経営】 行財政経営戦略会議で示された予算見通しに基づく、「厳しい財政状況」については市民と共有すべき情報であるため、記載すべき。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 「市財政の健全性を損なわない整備や維持管理のあり方」など、正確な意図が伝わりにくい表現は改めること。 ↓ 【修正後】 「 <u>長寿命化や施設保有量の最適化など、資産として最適に維持管理し、有効活用を図っていかねば、</u> 」
18	調査特別委員会 (議会)	23	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ②行財政経営】 「市財政の健全性を損なわない整備や維持管理のあり方」など、正確な意図が伝わりにくい表現は改めること。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 「市財政の健全性を損なわない整備や維持管理のあり方」など、正確な意図が伝わりにくい表現は改めること。 ↓ 【修正後】 「 <u>長寿命化や施設保有量の最適化など、資産として最適に維持管理し、有効活用を図っていかねば、</u> 」
19	調査特別委員会 (議会)	23～25	総論	多様化する市民ニーズに対応していくことが困難になるという表現が多く出ている。これだけ書かれると、様々な要望を出しても対応できないという意図に感じてしまう。	原案のとおりとします。 【理由】 そのような意図で書いてはませんが、経営資源に限られることで、様々なニーズに行政だけで対応していくことが困難な社会を迎えることは、本市にとって大きな課題と考えているため、原案のとおりとします。
20	調査特別委員会 (議会)	24	総論	【2 10年後、20年後の本市が抱える問題 ⑤観光・産業】 「北部地域の農業などの産業が衰退すれば、集落の存続が危ぶまれます。」と記載があるが、現住されている住民にとっては、表現が厳しすぎるのではないかな。	農業、農村の維持に向けて施策を展開する姿勢は守りつつ、「表現が厳しすぎる」との発言主旨を踏まえて次のとおり修正します。 【修正前】 「北部地域の農業などの産業が衰退すれば、集落の存続が危ぶまれます。」 ↓ 【修正後】 「北部地域の農業などの産業が衰退すれば、集落の維持に困難が生じるおそれがあります。」

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
21	調査特別委員会(議会)	25	総論	【3 計画の推進に向けて (1)基本的な考え方】 コロナ禍により、人とのコミュニケーションがとりにくい状況の中、「お互いさま」があふれるまちづくりやつながりづくりは、今までと同じ表現であり、にぎわいをイメージする。リモート化・デジタル化についていけない人もいる中、支援する仕組みづくりについて言及しているのでは。	コロナ禍の影響により、対面でのコミュニケーションが制約される中で、より一層、人と人とのつながりの大切さが認識されており、今後も「お互いさま」があふれるまちづくりが必要と考えています。 ご指摘のとおり、感染症が蔓延する中でも、デジタル技術も活用しながらつなげられる環境づくりが必要であるため、以下のとおり整理します。 重点方針[1]「方向性」 6つ目の◆として、「◆地域コミュニティ等におけるリモート化、デジタル化の取組を推進します。」を追加します。 重点方針[3]「方向性」 4つ目の◆の内容に包含されており、「新しい生活様式」の定着において、運用上の検討を行ってまいります。
22	調査特別委員会(議会)	25	総論	【3 計画の推進に向けて (1)基本的な考え方】 SDGsと各施策の関係の整理について検討してもらいたい。	総合計画審議会のご意見を踏まえ、「基本計画【各論】の各施策」で関係を示すことはせず、基本計画【総論】の「3計画の推進に向けて(1)基本的な考え方」において、SDGsの視点を意識しながら各施策の展開を図ることを明記することとしました。なお、総合計画においては、各施策との関係は示しませんが、別途、整理することについて、今後検討を行ってまいります。
23	調査特別委員会(議会)	28	総論	【重点方針[2]】 行財政経営について、令和元年度決算の附帯決議のとおり、市民、職員の意識の変革が大事であるが、そのような方向性が見えない。明記することについて検討してもらいたい。	ご意見を踏まえ、総論の「3計画の推進に向けて (1)基本的な考え方」の文中を以下のとおり修正します。 「…様々なニーズに行政だけで対応していくことが困難な社会を迎えるため、本市が直面する問題に向き合い、長期的な視点に立って、意識の変革を行いながら、時代にふさわしい市民サービスへの転換を進め、…」
24	調査特別委員会(議会)	29	総論	【重点方針[3]】 あらゆる人に健康で暮らせるとの記述があるが、高齢者にしか視点が当たっていない。子どもたちや病気で悩まれている方などへの配慮も必要ではないか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 健康寿命を延ばして、高齢者の生活の質(QOL)が向上するように、地域活動や就労、スポーツなどを通じたいきがいつくりや、介護・疾病予防活動などエイジフレンドリーシティの取組をさらに推進します。 ↓ 【修正後】 あらゆる世代の人の生活の質(QOL)の向上と、健康寿命の延伸を図れるように、地域活動や就労、スポーツなどを通じたいきがいつくりや、介護・疾病予防活動等のエイジフレンドリーシティの取組などを推進します。」
25	市	30	総論	—	【重点方針[4]】 「方向性」の3つ目と4つ目の◆を入れ替え (修正理由) 「必要性」の◇の並びに合わせるため
26	総合戦略有識者会議	30	総論	重点方針[4]の◆2つ目について、「配慮が必要な子ども…」を文頭にもってくるより、「安心して子どもを産み、楽しく育てる」ことを前面に押し出すべきではないか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり文脈の前後を入れ替えします。 【修正前】 配慮が必要な子どもと家庭への支援や貧困対策、仕事の両立支援などを妊娠前から切れ目なく行うとともに、地域社会全体の子育て意識を向上させ、安心して子どもを産み、楽しく子育てできる環境づくりに取り組めます。 ↓ 【修正後】 地域社会全体の子育て意識を向上させ、安心して子どもを産み、楽しく子育てできる環境づくりを推進するとともに、配慮が必要な子どもと家庭への支援や貧困対策、仕事の両立支援などに妊娠前から切れ目なく取り組めます。
27	総合戦略有識者会議	31	総論	重点方針[5]の◆3つ目について、「女性が自らの希望によって多様な働き方を選択でき、…」と女性を特出しする方が良いのか。宝塚市は、まだ男女の雇用格差についての取組が不十分との認識であればこの書きぶりでも良いが。	原案のとおりとします。 【理由】 2つ目の◆で、性別を限定しない形で、働く場の創出と多様な働き方の推進を掲げていますが、基本計画6【4】雇用・労働環境の「現状と課題」のグラフにあるように、女性の労働力率は国や県と比較して低い状況にあることなどから、方向性に掲げたものです。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
28	調査特別委員会 (議会)	32	総論	【3 計画の推進に向けて (3)進捗管理】 「②分野別計画との一体的な推進」について、各計画の期間が異なるのに、一体的な推進は可能なか。可能というのであれば、その具体的な方法を明確にすべき。	原案のとおりとします。 【理由】 基本計画については、既存の分野別計画(改訂中のものはその状況)や社会情勢の変化等を踏まえながら策定を進めています。今後、策定(改訂)予定の分野別計画については、総計に即して策定するとともに、3(3)進捗管理に明示しているとおり、体系や策定(改訂)時期、計画期間などについて検討を行うこととしており、計画期間の見直しに取り組み、分野別計画との一体的な推進をめざしていきます。 なお、社会情勢の変化等により、必要に応じて基本計画の見直しを検討します。 こうした考え方については、既に序論・総論に盛り込んでいます。
29	調査特別委員会 (議会)		総論	少子化対策の文言がなかなか出てこない。出生率、産み育てるという観点がないが必要ではないか。どこかで触れておくべきである。	少子化への対応は意識しているところであり、P.24 210年後、20年後の本市が抱える問題 ④子ども・教育では、「子育て環境や就労環境が充実しない場合は、少子化が更に進行するおそれがあります。」とし、P.30重点方針[4]必要性では、「子どもを産み育てやすい環境づくりを進め」とし、方向性では、「安心して子どもを産み、楽しく子育てできる環境づくりを推進」としています。 ご意見を踏まえ、さらに、P25 3(1)基本的な考え方①の4行目を「このまちで働く、子どもを産み育てる、交流・活動する」に修正します。 出生率や具体的な取組等については、総合戦略の中で整理していきます。
30	調査特別委員会 (議会)		各論	主な分野別計画に総合戦略がない。位置付けについて、検討が必要ではないか。	原案のとおりとします。 【理由】 総合戦略も分野別計画の位置付けですが、様々な分野に関わる計画であるため、各論の個別分野に関連する主な分野別計画の項目には記載していません。
31	調査特別委員会 (議会)	34	各論 施策分野の体系	体系図にページ番号を挿入できないか。	ご意見を踏まえ、体系図にページ番号を挿入します。
32	調査特別委員会 (議会)		各論 全般	「関連する主な分野別計画」に分野別計画の名称以外に計画期間なども記載すべき。	ご意見を踏まえ、期間を明示します。
33	調査特別委員会 (議会)		各論 全般	成果指標について、読み手側で様々な捉え方ができる。KPI(重要業績評価指標)と答弁があったが、「成果指標」と「実行プロセスを評価する指標」に対する考え方を整理した上で、適切な表現に改めること。	「成果指標」は、施策における成果や進捗状況を把握するための指標として設定していますが、この中には、施策の目的としている最終的な成果を表す指標や目的達成の途中段階の成果を表す指標が含まれています。また、一部の施策においては、成果指標を設定しにくいものもあり、代替として活動指標を設定しているものがあります。 なお、こうした点については、基本計画の「施策分野の見方」に記載します。
34	調査特別委員会 (議会)		各論 全般	成果指標はあった方が良いと思うが、成果指標として適切でなかったり、そもそも施策の方向性とリンクした成果指標がないようなものも散見されるので、見直してもらいたい。	成果指標は主な指標であり、1施策あたり最大3つまで記載しており、記載できない指標については、今後の行政評価や分野別計画の中で指標を立てる予定です。総合計画には10年間の指標としてふさわしい主なものに記載していますが、より適切な成果指標となるよう努めます。
35	調査特別委員会 (議会)	37	1-1 市民自治・協働	【現状と課題(1)】 自治会連合組織が複数に分かれていることについて、課題として記載すべき。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 【修正前】 「自治会加入率は減少傾向にあります。」 ↓ 【修正後】 「自治会加入率の減少をはじめ、自治会や自治会の連合体における諸課題に対応していく必要があります。」

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
36	市	38	1-1 市民自治・協働	—	(1)市民自治の基盤となる地域自治の確立 (施策の方向性) 【修正前】 ○地域ごとのまちづくり計画の実現に向け、地域と連携しながら取り組みます。 ↓ 【修正後】 ○地域ごとのまちづくり計画の実現に向け、 <u>地域との調整を図る仕組みを構築し</u> 、地域と連携しながら取り組みます。 (修正理由) 基本構想の「5 計画の推進に向けて (2)進捗管理」に記載している仕組みについて、基本計画の各論においても明示するため。
37	調査特別委員会(議会)	38	1-1 市民自治・協働	【成果指標(1)】 まちづくり協議会ポータルサイトアクセス件数より、適切な指標があるのではないか。	原案のとおりとします。 【理由】 地域ごとのまちづくり計画の実現に向けて、地域と対話しながら取組を進める中で、同計画に基づいた地域の活動状況や同計画の進捗状況について、ポータルサイトを活用しながら見える化を図っていく予定です。また、災害時においても地域情報の発信ツールとしての活用を促していきます。ポータルサイトを充実し、アクセス数を増やすことで、地域活動に参加していない壮年層の参加を促進し、活動の活性化を図ることをめざしていることから、指標としています。
38	市	38	1-1 市民自治・協働	—	(2)様々な市民活動の充実 (指標名) 「地域やNPOと行政との協働事業数」を削除する。 (修正理由) 施策(3)でも同じ指標を掲載しており、できる限り重複をさけるため。
39	調査特別委員会(議会)	39	1-2 人権・男女共同参画	憲法には基本的人権の尊重、平和主義は大きな柱としてあることから、「平和」を項目として明記すべき。	原案のとおりとします。 【理由】 非核平和都市宣言を行い、宝塚市核兵器廃絶平和推進基本条例を制定し、平和事業に取り組んでいます。主な取組内容は啓発事業で、施策規模としては大きくないこともあり、原案のとおりとしますが、ご意見のように、人権と平和には密接な関係にあることは認識しています。めざすまちの姿に、「平和のもとで」という表現を入れることとし、包含的にすべての施策に取り入れるべき視点としています。
40	調査特別委員会(議会)	39	1-2 人権・男女共同参画	【めざすまちの姿】 めざすまちの姿について、例えば「平和のもとで」とか、「平和を享受し」とか、唐突感を埋める工夫を考えられてはどうか。	No.10(めざすまちの姿)の修正の再掲 ご意見を踏まえて、めざすまちの姿を下記のとおり修正します。 【修正前】…平和で誰もがありのままに… ↓ 【修正後】…平和のもとで、誰もがありのままに…
41	調査特別委員会(議会)	39	1-2 人権・男女共同参画	【現状と課題(2)】 宝塚市の現状と課題であるとのことであれば、「世界では今なお戦争や紛争が絶えず、全人類を滅ぼす核兵器が保有」は、市とは直接関係ないのではないか。	原案のとおりとします。 【理由】 平和への関心を持ち、大切さを伝え、平和を守る意識を高めることは、先の大戦を受けてはもちろんのこと、現状の世界の状況をおさえておく必要があるため、現在の表現としています。
42	調査特別委員会(議会)	40	1-2 人権・男女共同参画	【施策(1)】 「部落差別をはじめとする様々な差別解消に向けて」という表現について、部落差別は様々な差別の中に含まれており、強調する理由はない。「部落差別をはじめとする」という表記は不要であり削除すべき。	原案のとおりとします。 【理由】 平成28年に部落差別の解消の推進に関する法律が制定され、現在でも部落差別が存在することや地方公共団体の責務等が明記されました。また、本市の施策を進める上でも、部落差別について、十分配慮するように、市人権審議会でも意見をいただいているため、原案のとおりとします。
43	調査特別委員会(議会)	40	1-2 人権・男女共同参画	【施策(2)】 非核平和都市推進事業とあるが、時代が変遷する中、なぜこうした事業に取り組んでいるかということが分かりやすいように、核兵器廃絶平和推進基本条例に基づきやっているというような表現をされた方がよいのではないか。	ご意見を踏まえて、注釈を下記のとおり修正します。 【修正前】 核兵器廃絶平和推進基本条例を施行し、戦争や核兵器… ↓ 【修正後】 <u>非核平和都市宣言に基づき</u> 、核兵器廃絶平和推進基本条例を施行し、戦争や核兵器…

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
44	調査特別委員会(議会)	40	1-2 人権・男女共同参画	【施策(3)】 施策の方向性の中に、「女性の参画」や「女性への暴力」等、女性を表す表現があるが、実際には、男性への暴力もあることから、表現を見直すべきではないか。	原案のとおりとします。 【理由】わが国では、女性差別の撤廃を目指した国際的な動きと連動して、男女共同参画社会の実現を最重要課題として位置付けています。本市でも、その実現に向け、様々な取組を行っていますが、まだまだ女性の社会への参画は達成されておらず、DV被害についても、ほとんどが女性が被害者となっています。
45	調査特別委員会(議会)	40	1-2 人権・男女共同参画	【成果指標(3)】 女性の公職参画率について、公職の定義、説明が必要ではないか。	ご意見を踏まえて、指標を下記のとおり修正します。 【修正前】 本市における女性の公職参画率 ↓ 【修正後】 法律及び条例設置の附属機関に占める女性の参画率 なお、個別計画である市男女共同参画プランでは、その他本市の公職参画状況を把握し、ホームページで公表しています。
46	調査特別委員会(議会)	42	1-3 開かれた市政	【施策】 現状と課題にある「ICTを活用した意見を聴取しやすい仕組みの充実が求められています。」に対応した施策が展開されていない。	ご意見を踏まえて、施策(2)を下記のとおり修正します。 【修正前】 「市民の意見を聴く機会の充実を図ります」 ↓ 【修正後】 「ICTの活用など、市民の意見を聴く機会や仕組みの充実を図ります」
47	調査特別委員会(議会)	43	1-4 情報化	【現状と課題(1)】 「施策」には個人情報保護対策が明記されているが、「現状と課題」では何も書かれていない。情報化と個人情報保護は表裏一体の重要な課題であり、「課題」として明記すべき。	ご意見を踏まえ、現状と課題(1)に以下のとおり文言を追加します。 【追加文】 また、ICTの利用拡大に伴い、国内でも個人情報の流出や情報セキュリティ事故が発生しています。ひたひ事故が発生すると、市民生活に深刻な影響を及ぼす可能性があり、安全対策に努める必要があります。
48	調査特別委員会(議会)	44	1-4 情報化	【成果指標(1)】 情報セキュリティに関する成果指標として、情報関係の事故ゼロを目指すとか、その職員の情報セキュリティに関する研修の受講率を上げていくとか、いくらかでも成果指標が考えられるのではないか。	原案のとおりとします。 【理由】 ご指摘の点については、具体的な事務事業ごとの成果指標により進捗を図ってまいります。
49	調査特別委員会(議会)	44	1-4 情報化	【成果指標(2)】 EBPMを推進する上での成果指標がない。例えばそのEBPMによる政策立案件数とか、そのエビデンスを積むためのアンケート調査とかネット調査の回数とかの成果指標も作れるのではないか。	EBPM推進の具体的な方法については、検討課題となっており、現段階では指標の設定が困難ですが、今後、行政評価の中で指標の設定について検討していきます。
50	調査特別委員会(議会)	45、46	1-5 行財政経営	【現状と課題(3)】【施策(3)】 将来の見える行財政経営の推進ではなく将来を見通すことではないのか。	原案のとおりとします。 【理由】 「将来の見える」には将来を見通すことも含まれます。市民の皆様にも可視化することにより市民から信頼される行財政経営を推進していきます。「将来を見通すこと」の説明を原案に追加すると文章が冗長となるため原案のとおりとします。
51	市	45	1-5 行財政経営	—	【関連する主な分野別計画】 【修正前】 ●宝塚市行財政経営に関する指針 ↓ 【修正後】 ●宝塚市行財政経営方針 (修正理由) 名称について整理をしたため
52	調査特別委員会(議会)	46	1-5 行財政経営	【施策】 将来おこるリスクマネジメントについて書ききれていない。外部環境の変化に応じてやっていくことが経営、これを実行するには意識改革が必要である。基本計画に書き込まないとわからない。運営から経営に変えた理由を書き込むべき。運営から経営に変えるのは誰がどうやっていくのか。全庁的に先手先手を打っていく組織体制をつくることが重要。DXの取組など重要なのは見えているリスクに対する方向性を打ち出すこと。	原案のとおりとします。 【理由】 リスクマネジメントについては、行財政経営の視点から必要と認識しています。めざすまちの姿として「社会構造が変化する中でも経営資源の適正な配分により、効率的・効果的な市民サービスが提供されている。」としていること、また、施策としても「時代にふさわしい市民サービス」「時代の変化に対応できる職員の育成と組織体制の整備」「将来の見える行財政経営の推進」を掲げており外部環境の変化に対応して施策を進めるとしていることから原案のとおりとします。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
53	調査特別委員会(議会)	46	1-5 行財政経営	【施策】 行財政運営から行財政経営に変わった。これから経営の視点をもってやっていくということであるが、どう変わったのか、どうやっていくのか書き込んでおかないと職員が分からないと思う。	原案のとおりとします。 【理由】 経営の視点については、分野別計画で示していきま
54	調査特別委員会(議会)	46	1-5 行財政経営	【成果指標(2)】 指標が3つあるが、うち2つの指標が職員のワーク・ライフ・バランスに関してであり、バランスが悪いのでは。	ご意見を踏まえ、「職員研修延べ受講人数」及び「年次休暇取得率」を指標から外し、新たに「電子決裁率」を加えます。 【修正前】 ◆職員研修延べ受講人数 ◆年次休暇取得率 ↓ 【修正後】 ◆電子決裁率
55	調査特別委員会(議会)	46	1-5 行財政経営	【成果指標(2)】 指標の「職員研修延べ受講人数」は指標としてふさわしくないのではないか。	◆職員研修延べ受講人数 ◆年次休暇取得率 ↓ 【修正後】 ◆電子決裁率
56	調査特別委員会(議会)	46	1-5 行財政経営	【成果指標(3)】 実質単年度収支のプラスを指標としているが決意がわかる指標としてほしい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 ◆実質単年度収支のプラスの維持 めざす方向性「→」 ↓ 【修正後】 ◆実質単年度収支のプラスの維持 めざす方向性「→」 ◆経常収支比率 めざす方向性「↘」
57	市	47	2-1 危機管理・防災・消防	—	No.11(めざすまちの姿)の修正の再掲 【修正前】 地震や風水害に市民と行政が <u>ともに</u> 備え、地域で助け合う意識が高まることにより <u>防災力</u> が強化されている。 ↓ 【修正後】 地震や風水害、 <u>感染症</u> に市民と行政が <u>共に</u> 備え、地域で助け合う意識が高まることにより <u>危機対応力</u> が強化されている。 (修正理由) 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮するため。
58	調査特別委員会(議会)	47	2-1 危機管理・防災・消防	【現状と課題(2)】 公助の限界に関する表現を検討されてみてはどうか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 「災害や感染症の蔓延時における公助の限界が露呈するなか」 ↓ 【修正後】 「災害時には公助の限界があることや感染症の蔓延時には」
59	市	47	2-1 危機管理・防災・消防	—	現状と課題に係るグラフの「救急出動件数の推移」について、出動件数を0件から14,000件までを一律で示し、増加が分かりにくいグラフであるため、8,000件から13,000件までの増加が分かりやすいグラフに変更します。
60	市	49	2-2 防犯・交通安全	—	【現状と課題(2)】 【修正前】 交通事故(人身、自転車)… ↓ 【修正後】 交通事故(自転車含む人身事故)… 【現状と課題に係るグラフ】 【修正前】 交通事故件数(物損と人身)の推移 ↓ 交通事故(人身事故)の発生件数の推移 【修正理由】 現状と課題、グラフ、施策の整合を図るため。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
61	市	51	2-3 消費生活	—	<p>【現状と課題(1)】</p> <p>【修正前】 消費生活相談件数は、平成21～30年度(2009～2018年度)は、…</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 消費生活相談件数は、…</p> <p>【修正理由】 現状と課題とグラフとの整合を図るため。</p>
62	調査特別委員会(議会)	52	2-3 消費生活	<p>【施策(1)】 「現状と課題」に、消費者団体会員の高齢化で持続的な活動が危ぶまれていることに対する問題意識が感じられない。 「施策」の「(1)世代や生活の場に応じた多様な消費者教育の推進」の「市民や関係機関、団体、事業者等との連携・協働し、消費者教育や啓発を推進します」を「市民や関係機関・市民団体・事業者等と連携・協働し、消費者教育や啓発を推進するとともに次代の担い手を育成します」に修正するべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 施策(1)、「○」1つ目 「市民や関係機関、団体、事業者等と連携・協働し、消費者教育や啓発を推進します」</p> <p>↓</p> <p>【修正案】 「市民や関係機関、市民団体、事業者等と連携・協働し、消費者教育や啓発を推進しながら、次世代の担い手を育成します」</p>
63	調査特別委員会(議会)	52	2-3 消費生活	<p>【施策(1)】 消費者団体への支援であるが、(特)消費者協会宝塚には、ガレッジセールや消費者の店などをやっていた。この協会が活動しやすいように、支援をどう考えているのか。協会員が高齢化しているので、団体事業に人的支援をするなど、今後も事業が継続実施できるように支援が必要である。</p>	<p>同協会が実施している事業の始まりは共同開催のものもありますが、今はすべて協会の自主事業です。NPO法人である協会の自主事業や収益事業に対して、後援以外に人的参加することはできませんが、他に事務所床や備品を無償貸与し、支援しています。</p>
64	調査特別委員会(議会)	52	2-3 消費生活	<p>【成果指標(1)】 第5次総計と成果指標が変わり、生活大学が消えている。生活大学は実施していないのか、又はやめるのか。実施していくのなら協会がやっている事業も成果指標として記載しなければならないのではないか。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>【理由】 生活大学は、市は後援していますが、消費者協会の自主事業です。 市としては、引き続き応援し、個別事業については、策定中の次期消費者教育推進計画において明記します。</p>
65	調査特別委員会(議会)	53	2-4 土地利用	<p>【現状と課題】 定住人口の維持と記述しているが、これまで行政が関わり土地利用規制の弾力的運用に関する条例をつくった。この条例のことを具体的に書かないのか。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>【理由】 土地利用規制の弾力的運用に関する条例は、北部地域の活性化に向けたまちづくりを推進するためのツールの一つに過ぎないため、名称の記述は行わないこととします。</p>
66	調査特別委員会(議会)	53	2-4 土地利用	<p>【関連する主な分野別計画】 北部地域土地利用計画の名称がよく出てくる。関連する主な分野別計画に追記することを検討していただきたい。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>【理由】 関連する主な分野別計画の覧には、マスタープランとなる計画を記載することとしています。北部地域土地利用計画は、分野別マスタープランである都市計画マスタープラン2012での北部地域の保全、整備の計画内容をさらに具体化する「戦略的計画」に位置付けているものです。よって、関連する主な分野別計画に該当しないため、追記しないこととします。</p>
67	調査特別委員会(議会)	54	2-4 土地利用	<p>【施策(2)】 「地域資源を生かした魅力的なまちづくりを推進します」について、何を指して魅力的なまちづくりを推進するのか。 具体的内容を追記していただくと、市民にもわかりやすいと思う。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>【理由】 具体的には、地産地消レストランなど、地域資源を活用した土地利用の推進をイメージしていますが、施策の方向性を記述することを目的としており、柔軟な施策展開を促進するためにも、具体例の記述は行わないこととします。</p>
68	調査特別委員会(議会)	54	2-4 土地利用	<p>【施策(2)】 「施策」の「(2)北部地域の活性化に向けたまちづくりの推進」に「宝塚市北部地域まちづくり基本構想」に関する内容を追加すること。</p>	<p>原案のとおりとします。</p> <p>【理由】 「宝塚市北部地域まちづくり基本構想」に記載されている具体的取組内容は、基本計画のそれぞれの施策分野において整理しています。「土地利用」に係る主な取組は「土地利用規制の弾力化」であり、No65において回答したとおり記載は行わないこととします。</p>

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
69	市	61、64	2-8 上下水道 3-1 健康・医療	—	<p>注釈 *経常収支比率</p> <p>【修正前】 財政構造の弾力性を判断するための指標。公営企業法が適用される地方公営企業の場合は、経常収益を経常費用で除して算出するため、100%以上が健全であるとされる。</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 経常費用に対する経常収益の割合を表すもので、この数値が100%以上の場合、単年度黒字を、100%未満の場合、単年度赤字を表す。</p> <p>(修正理由) 一般会計と公営企業会計の両方の説明を記載していたことから、公営企業会計に絞った注釈とするとともに、より分かりやすい表現とするため。</p>
70	調査特別委員会(議会)	64	3-1 健康・医療	<p>【施策(2)】 施策(2)「妊娠期からの児童虐待防止や育てにくさを感じる親への支援に取り組みます」の「親」については、児童福祉では「保護者」と記述されており、同じ表現の方がいいのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、表現を統一するため、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 「妊娠期からの児童虐待防止や育てにくさを感じる親への支援に取り組みます」</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 「妊娠期からの児童虐待防止や育てにくさを感じる保護者への支援に取り組みます」</p>
71	市	64	3-1 健康・医療	—	<p>(1)健康意識の向上とライフステージに応じた健康づくりの推進</p> <p>(指標名)</p> <p>【修正前】 「特定健康診査受診率(法定報告)」</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 「国民健康保険特定健康診査受診率」</p> <p>(修正理由) 「社会保障」の施策分野の同指標と文言の統一を図るため。</p>
72	調査特別委員会(議会)	65	3-2 地域福祉	<p>【現状と課題】 「宝塚市ボランティア活動センターにおける、ボランティア人数及び団体数」のグラフについて、ボランティア団体数が大幅に下がっていることに対する対策が、施策に反映されていない。この表を掲載することの意義は何か。</p>	<p>この項目は現状と課題を示す部分ですので、ボランティア活動センターの登録団体数が、市民の皆様のライフスタイルの変容の影響もあり、減少している現状を示すことを意図したものです。一方で審議会においては、地域に溶け込んでいる貢献活動の実態が評価されていないとの意見もいただいているところです。この点を踏まえて、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 グラフ「ボランティア活動センターにおける、ボランティア人数及び団体数」</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 グラフ「地域ささえあい会議の開催団体数の推移」</p>
73	調査特別委員会(議会)	68	3-3 高齢者福祉	<p>【成果指標(1)】 「65歳以上の介護保険新規認定者の認定申請年齢」を上げていくことが目標となっているが、申請時期を意図的にコントロールしようとする行政の意図があると誤解を招かないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正し、成果指標を整理統合します。</p> <p>【修正前】 ◆65歳以上の介護保険新規認定者の認定申請年齢 ◆「いきいき百歳体操」実施グループ数</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 ◆65歳以上の要支援の認定率 ※推計値以下を目標 めざす方向性「↘」 ※</p>
74	調査特別委員会(議会)	68	3-3 高齢者福祉	<p>【成果指標(1)】 「社会保障」の施策分野に国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の指標があり、下げていく方向性が示されているが、このような介護保険給付に関する指標がない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、意図をわかりやすくするため、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 「バリアフリー化事業などを実施しています。」</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 「バリアフリーを推進するための事業を実施しています。」</p>
75	調査特別委員会(議会)	69	3-4 障碍(が)い者福祉	<p>【現状と課題(4)】 「バリアフリー化事業」とあるが、ハードの単体事業のようなイメージがあるため表現を検討してはどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、意図をわかりやすくするため、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 「バリアフリー化事業などを実施しています。」</p> <p>↓</p> <p>【修正後】 「バリアフリーを推進するための事業を実施しています。」</p>

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
76	市	72	3-5 社会保障	—	(2) 健やかな暮らしを支える医療保険制度等の適切な運営 (施策の方向性) 【修正前】 ○後期高齢者医療制度の適切な運営に努めます ↓ 【修正後】 ○後期高齢者医療制度を適切に運営します (修正理由) 他の2つの「○」と表現を統一するため。
77	市	72	3-5 社会保障	—	(2) 健やかな暮らしを支える医療保険制度等の適切な運営 (指標名) 【修正前】 「国民健康保険特定健診審査受診率」 ↓ 【修正後】 「国民健康保険特定健康診査受診率」 (修正理由) 文言に誤りがあったため。
78	市	73	4-1 児童福祉・青少年育成	—	上下の図を入れ替え (修正理由) 現状と課題(1)と(2)の並びに合わせるため
79	調査特別委員会(議会)	74	4-1 児童福祉・青少年育成	【成果指標】 めざすまちの姿で示されている子どもたちが文化芸術に触れることに関連した成果指標があると良いのではないか。	原案のとおりとします。 【理由】 ご意見いただいた点については、成果指標というよりは、分野別計画である次世代育成支援行動計画の基本理念として位置づけています。 ここでは、「本市の特色である豊かな自然や文化芸術に触れることにより、子どもが夢と希望を抱き、健やかに成長するとともに、子どもを育むことが楽しくなるまちの実現を目指す」という理念も踏まえながら、個別の事業に取り組んでいくものとしています。
80	調査特別委員会(議会)	75、76	4-2 学校教育	【現状と課題(2)】【施策(2)】【成果指標(2)】 市内で発生した事案を踏まえて、「現状と課題」に、いじめ及び体罰に関する事項を明記すべき。また、「施策」に、いじめ及び体罰に対する施策を加えるとともに、その成果指標を設定すべき。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <現状と課題(2)> 【修正前】 小1 プロブレム*や中一ギャップ*などの課題、恒常化する… ↓ 【修正後】 いじめや体罰、ハラスメントの根絶に向けた組織風土づくりや小1 プロブレム*、中一ギャップ*などの課題に対応する環境づくりが必要で、恒常化する…
81	調査特別委員会(議会)	76	4-2 学校教育	【成果指標(2)】 「現職研修を受講した教職員の内、「理解できた」と評価した教職員の割合」について、管理職になりたいという人の、割合を増やすというような指標にした方が、総合的な成果指標になり、効果が見えやすいのではないか。	<施策(2)> 【修正後】 ○いじめや体罰、ハラスメントを根絶しますを追加
82	調査特別委員会(議会)	76	4-2 学校教育	【成果指標(2)】 「トイレの洋式化率」について、10年の総合計画の指標として適切なのか疑問に思う。	<成果指標(2)> 【修正前】 ◆現職研修を受講した教職員の内、「理解できた」と評価した教職員の割合 ◆トイレの洋式化率 ↓ 【修正後】 ◆全国学力・学習状況調査で「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と回答した生徒の割合めざす方向性「↑」 ◆全国学力・学習状況調査で「先生はわたしの良いところを認めてくれていると思う」と回答した生徒の割合めざす方向性「↑」 ◆学校長寿命化計画に基づく事業実施率めざす方向性「↑」 <現状と課題に係るグラフ> 【修正後】 ・学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合の推移を追加

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
83	調査特別委員会 (議会)	78	4-3 社会教育	【成果指標(1)】 図書館の役割が変わってきており、ふれあいの場としての図書館が求められている。成果指標を設定しにくいと思うが、これから10年先の計画に沿うような指標を検討してもらいたい。	ご意見を踏まえ、図書館に関して以下のとおり成果指標を修正します。 【修正前】 「◆図書館での市民1人当たりの貸出数」 ↓ 【修正後】 「◆市立中央図書館、西図書館の来館者数」、 「◆市立図書館の利用登録者数」
84	調査特別委員会 (議会)	78	4-3 社会教育	【成果指標(1)】 図書館・公民館の成果指標はこれだけではない。まちづくりへの関心度、社会教育の目的に沿った市主催の学びについて、どう考えているのか。 公民館や図書館が大切な居場所として総合計画の中で示してもらいたい。	
85	市	78	4-3 社会教育	—	(2)スポーツに親しむ環境づくりの推進 (指標名) 【修正前】 「成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率」 ↓ 【修正後】 「過去1年間、運動・スポーツの実施日数が週1～5回以上」と回答した市民(成人)の割合」 (修正理由) 表現形式を他の指標と合わせるため。
86	調査特別委員会 (議会)	83、84	5-3 環境保全	【現状と課題(2)】【施策(2)】 「(2)関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全」にある「生物多様性」に関連して、「丸山湿原・松尾湿原」に関する内容を記載すること。	ご意見を踏まえ、具体的に示すため、以下のとおり修正します。 【修正前】 現状と課題(2) 「西谷地域をはじめ、」 ↓ 【修正後】 「西谷地域の丸山湿原群や松尾湿原をはじめ、」
87	市	83	5-3 環境保全	—	現状と課題(3) 【修正前】 公共用水域の水質の監視や自動車等の騒音や大気等の常時監視を行い、環境影響に係る情報の提供や指導等を行っています。近年は、規制のかからない範囲での、におい、低周波、振動や生活騒音などに関する苦情が増加傾向にあります。 ↓ 【修正後】 公共用水域の水質、自動車などの騒音や大気などの監視を行い、環境影響に係る情報の提供や指導等を行っています。近年は、規制のかからない範囲での騒音に関する苦情が公害苦情件数の中で最も多くなっています。 (修正理由) 内容の精査及び文言整理のため
88	市	83	5-3 環境保全	—	現状と課題(4) 【修正前】 環境に対して関心や理解をもってもらうため、親子で参加できるイベントの充実や教育現場との連携を高める努力をしています。また、環境保全のため自発的に活動を行う人材の育成として、たからづか環境マイスター制度*の活用を進めています。 ↓ 【修正後】 環境に対して関心や理解を深めてもらうため、親子で参加できるイベントの充実や教育現場との連携を高める努力をしています。また、たからづか環境マイスター制度*を活用し、人材育成や保全活動の推進を図っています。 (修正理由) より分かりやすい表現とするため

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
89	市	84	5-3 環境保全	—	(2)関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全 (指標名) 【修正前】 環境保全活動団体数(参加人数) ↓ 【修正後】 環境保全活動団体数 (修正理由) 団体数と参加人数の2つの数値が一つの指標にまとめられているため、主な指標である団体数のみの記載とした。
90	市	84	5-3 環境保全	—	注釈 *たからづか環境マイスター制度 【修正前】 地域の環境保全活動のリーダーや環境学習の指導者となる人材をたからづか環境マイスターに認定し、マイスターを中心として、市民活動団体や事業者等が自律的に、又は相互に連携、協働しながら地域の環境保全活動を推進することを目的とする制度。 ↓ 【修正後】 地域の環境保全活動や環境学習を推進するため、そのリーダーとなる人材をたからづか環境マイスターとして認定する制度。 (修正理由) より簡潔で分かりやすい表現とするため
91	調査特別委員会(議会)	86	5-4 循環型社会	【成果指標(2)】 新ごみ処理施設の整備についての指標がない。明確に示す方がいいのではないか。	目標を表現するために下記のとおり施策の文章に追記するとともに新たな指標を設定します。 【修正前】 施策(2)、「〇」2つ目 事業の進捗状況など情報発信し、 <u>市民に信頼される</u> 新ごみ処理施設を整備します 成果指標 なし ↓ 【修正後】 事業の進捗状況などの情報を発信し、 <u>市民の信頼を得ながら、エネルギー回収推進施設(ごみ焼却炉)等の新ごみ処理施設を整備します</u> 成果指標 ◆エネルギー回収推進施設(ごみ焼却炉)の整備工事進捗率 めざす方向性「△」
92	調査特別委員会(議会)	90	6-1 観光	【成果指標】 成果指標が全て同じというのはおかしい。「施策」の「(1)地域資源の磨き上げと掘り起こし」に、コンテンツ開発に取り組むならば、その成果指標を「(2)積極的な誘客に向けた国内外への情報発信」に、情報発信、インフラ整備それぞれの成果指標を設定すること。	ご意見を踏まえ、施策ごとに成果指標を整理し、一部追加設定を行います。 【修正前】 (1)地域資源の磨き上げと掘り起こし ◆観光入込客数 ◆宿泊者数 ◆外国人観光客数 (2)積極的な誘客に向けた国内外への情報発信 ◆観光入込客数 ◆外国人観光客数 (3)持続可能な観光振興に向けた環境整備 ◆観光入込客数 ◆外国人観光客数 ◆観光消費額 ↓ 【修正後】 (1)地域資源の磨き上げと掘り起こし ◆宿泊者数 ◆コンテンツ開発数 (2)積極的な誘客に向けた国内外への情報発信 ◆観光入込客数 ◆外国人観光客数 (3)持続可能な観光振興に向けた環境整備 ◆観光消費額 ※方向性はすべて上昇方向

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
93	調査特別委員会 (議会)	91	6-2 商工業	【現状と課題】 起業者のグラフだけではなく、廃業者数のグラフも掲載すべき。	原案のとおりとします。 【理由】 起業に対する支援策の成果を示すための現状値の掲載であり、廃業される事業所数を掲載する意図や意義、必要性が弱いと考えているため原案のとおりとします。
94	市	92	6-2 商工業	—	分野別計画との整合を図るため、成果指標の見直しを行います。 (1)新たな事業の創出 (指標名) 【修正前】 「デザイナーとマッチングした事業者数」 ↓ 【修正後】 「デザイナー等経営革新に必要な人材とマッチングした事業者数」 (2)まちの活性化 (指標名) 【修正前】 「市内商品販売額」 ↓ 【修正後】 「1店当たり年間商品販売額」 (修正理由) 商工業振興計画の成果指標との整合を図るため
95	市	92	6-2 商工業	—	分野別計画との整合を図るため、文言の見直しを行います。 (3)宝塚ブランドを生かした魅力創出 【修正前】 「産業施策と文化芸術施策の連携を促進します」 ↓ 【修正後】 「商工業施策と文化芸術施策の連携を促進します」 (修正理由) 商工業振興計画での表記との整合を図るため
96	調査特別委員会 (議会)	92	6-2 商工業	【成果指標(3)】 成果指標について、例えば地域内経済循環が本市は低いと、その向上を図ると言っておきながら、成果指標にはない。このように、掲げる施策に対応する成果指標が存在していない。	ご意見を踏まえ、「(3)宝塚ブランドを生かした魅力創出」の成果指標を地域経済循環率に変更します。 【修正前】 施策(3)、成果指標 ◆市内商品販売額 ↓ 【修正後】 ◆地域経済循環率
97	調査特別委員会 (議会)	94	6-3 農業	【施策】 施策に「花き、植木」に関する記載がない。	原案のとおりとします。 【理由】 農業施策では「花き、植木」をはじめ「西谷野菜」、「水稲」、「酪農」など個別に明記していません。本市地場産業である「花き、植木」は、「西谷野菜」と並んで「めざすまちの姿」で位置づけし、また分野別計画である農業振興計画では具体的な振興施策を明らかにすることとしています。
98	調査特別委員会 (議会)	94	6-3 農業	【成果指標】 農産物の生産拡大を目指しながら、農産物生産額が指標にされていない。	原案のとおりとします。 【理由】 農業振興施策の成果を測る指標は様々あり、中でも集落営農化、担い手への農地集積、獣害被害を指標とすることとしました。発言主旨にある野菜のほか、花き植木の生産額については、農業振興計画や事務事業評価で指標として用いることで検討を進めます。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
99	市	94	6-3 農業	—	(2)農業の新たな価値創出の推進 (指標名) 【修正前】 「農」に関するモノ・コト・バ登録数 ↓ 【修正後】 「農」に関する「モノ・コト・宝塚」選定資源数 (修正理由) より適切な指標名とするため。
100	市	94	6-3 農業	—	(1)「農」に触れ「農」を知る機会の創出 (指標名) 【修正前】 「農」に関する講習会等実施数 ↓ 【修正後】 「農」に関する講習会等参加者数 (修正理由) 活動指標となっていたため。
101	市	95	6-4 雇用・労働環境	—	No.13(めざまちの姿)の修正の再掲 分野別計画の基本理念を踏まえた表現に修正することについて、審議会のご意見をいただきたいと思います。 【修正前】 「多様な働き方が広がり、働く意欲を持つすべての人が安心していきいきと働いている。」 ↓ 【修正後】 「誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境が実現されている。」 (修正理由) 「雇用・労働環境」分野の分野別計画である労働施策推進計画(策定中)において、「誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境の実現」を基本理念に掲げることを検討しています。 同理念に基づき、今後も国・県をはじめ、市や関係機関が連携して、若者、高齢者、障害者、女性など誰もが今よりも一層活躍し、いきいきと働くことができる環境の実現を目指していきたいと考えており、そうした理念を踏まえたより分かりやすい表現とするため。
102	市	95	6-4 雇用・労働環境	—	(現状認識) 【修正前】 労働力人口*は減少傾向が続き、企業の人手不足感が高まっています。 ↓ 【修正後】 労働力人口*の減少傾向に伴い、業種や業態によっては人手不足感が高まっている状況です。 (修正理由) コロナ禍の影響も踏まえ一部修正 (中長期的には人口減少社会において人手不足の認識には変わりはないが、昨今のコロナ禍において雇用・労働環境に変化も生じているため「人手不足感」の表現をトーンダウンする)
103	調査特別委員会(議会)	96	6-4 雇用・労働環境	【施策(1)】 「施策」の「(1)誰もがいきいきと働くための就労支援」に、「宝塚シルバー人材センター等」に関する内容を追加すること。	原案のとおりとします。 【理由】 施策(1)に掲げる「誰もがいきいきと働くための就労支援」には、高齢者の就業機会確保も重要な取組として包含しており、シルバー人材センターもその中に含まれているため、追記は行わないこととします。
104	調査特別委員会(議会)	96	6-4 雇用・労働環境	【施策(2)】 ワーク・ライフ・バランスの実現は重要なことであることは認識しているが、コロナ禍で影響を受けている民間事業者には大変厳しい取組である。市が民間事業者に対してこのことを推し進めていくことは雇用の促進につながると思えないため、総合計画に掲げることは差し控えるべきでは。	原案のとおりとします。 【理由】 ワーク・ライフ・バランスの実現は、就労を希望する人が雇用者側に最も望むもののひとつとなっており、事業者の人手不足解消に向けた取組としても重要であると認識しています。 コロナ禍においては有効求人倍率が下降傾向にありますが、中長期的視点で総合計画に掲げる必要があるため、修正は行わないこととします。

No	意見元	該当箇所		委員発言要旨	対応、考え方又は修正内容
		ページ	区分		
105	市	98	6-5文化・国際交流	—	<p>(2)文化芸術により人と人がつながる取組の推進 (指標名) 【修正前】 「文化施設(ペガ・ホール、ソリオホール、宝塚文化創造館)の利用率」 「市民の文化活動に対する市の支援が十分できている又はできている」と回答した市民の割合」 ↓ 【修正後】 「協働による文化芸術関連事業数」 「文化芸術関連の市民ボランティアの登録者数」</p> <p>(3)文化芸術により成長を続けることができる取組の推進 (指標名) 【修正前】 「市民の文化活動に対する市の支援が十分できている又はできている」と回答した市民の割合」 ↓ 【修正後】 「他分野と連携した取組数」</p> <p>(4)歴史や文化、習慣の違いを認め、尊重する地域社会の構築 (指標名) 【修正前】 なし ↓ 【修正後】 「外国人支援件数」</p> <p>(修正理由) 施策により適した指標とするため。</p>
106	調査特別委員会(議会)		その他	第6次総合計画は10年の計画であるが、時代の流れが速い中、10年の計画が意味をなすのか。地方自治法の改正もあり、策定するかどうかは自治体の判断にゆだねられている。この10年間で本当に策定する必要があるのかどうかを考えていく必要がある。	本市がどのようなまちを目指すのか、総合計画を通して、市民と行政が共有することは、協働のまちづくりを進めていく上で必要であると考えています。一方で、社会もめまぐるしく変化しており、その変化に柔軟に対応できるよう、第6次総合計画では、具体的な取組などの詳細な内容は盛り込まない計画としました。次期総合計画については、本計画の進捗管理の状況や社会経済情勢の変化、他自治体の動向などを踏まえ、策定の必要性について考えていきます。